

株式会社メディックス

Think big.  
**medix**

# 2026年3月期 決算説明資料

東京証券取引所 スタンダード市場 | 証券コード：331A

2026.5

# Beyond 広告

デジタルマーケティングサービスのさらなる強化を図り  
顧客の「売れるの実現」「売れてるの定着」に貢献する企業へ

## 既存ビジネスの深化・拡大

メインサービスの広告販売をさらに深堀し、マーケティングDX領域の成長と競争力を高め、成長を加速していきます。

## 新領域へ進出

広告サービスにとどまらず、新たなサービスに進出して、顧客の「売れる」の実現に応えられる真のマーケティングパートナーを目指します

**これまで**

40年の長い歴史で強みと強い文化・風土の醸成

- 強い顧客基盤
- 人的資本
- BtoBへの実績

**直近3年間**

- 収益体質への改善・内部統制・ガバナンス強化
- 経営基盤の強化
- 人材活躍化計画
- ユニット経営

## 業績サマリー

## 売上高

4,256 百万円

(前年比 +2.3%)

## 営業利益

659 百万円

(前年比  $\Delta$ 17.8%)

## 経常利益

661 百万円

(前年比  $\Delta$ 30.5%)親会社株主に  
帰属する当期純利益

436 百万円

(前年比  $\Delta$ 45.6%)

## 成長投資と株主還元

## 成長投資

M&amp;Aを実施し5社をグループ化

## 株主還元

自己株式取得

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするため、自己株式の取得を実施いたしました。

取得株式総数

当社普通株式 50万株\*

株式取得総額

2.57億円

取得日

2025年9月17日

# キャピタルアロケーションについて

持続的な企業価値の向上を目指し、成長投資と株主還元の両立を追求してまいります。



## 配当方針の見直しについて

2026年3月期は当初予定より3円増配の18円とし、2027年3月期は中間8円・期末11円、年間19円を予定しております。累進配当・DOE（株主資本配当率）4.0%程度を目安とする方針のもと、株主還元強化を継続してまいります。

### 配当方針

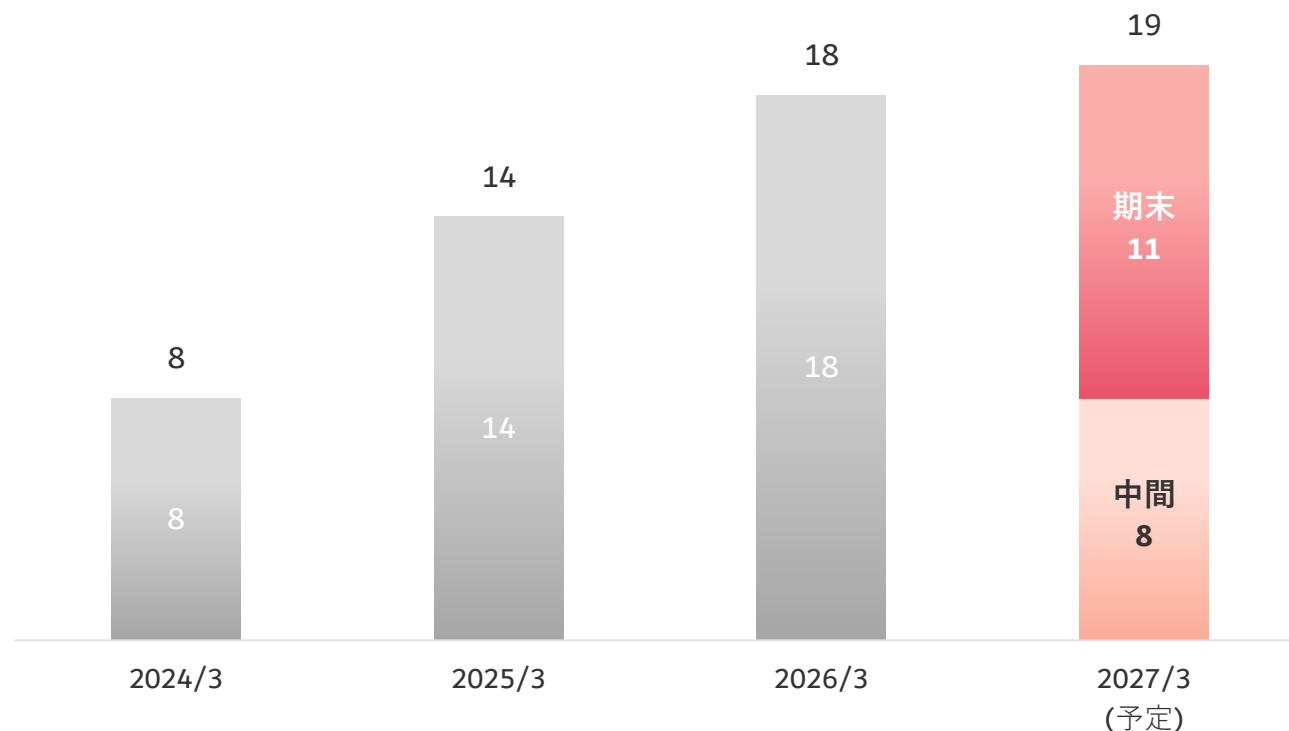
#### 改定前

配当性向を10%～20%を目安とし  
安定的・持続的に配当

#### 改定後

- 累進配当
- DOE（株主資本配当率）4.0%程度を目安
- 中間・期末の年2回配当

### 1株当たり配当金額※1の推移（円）



※ 2025年1月1日付で当社普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期については株式分割後の1株当たりの配当金の額を記載しています。

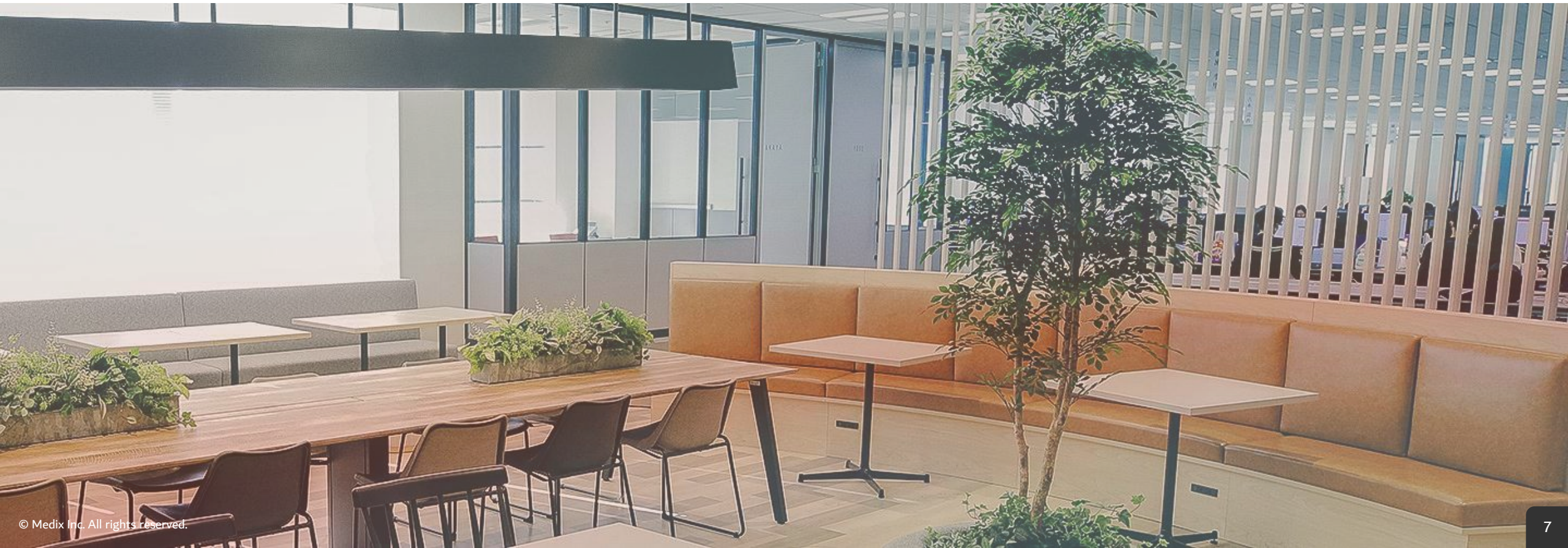


- 01 会社概要
- 02 2026年3月期 通期決算概要
- 03 2027年3月期 業績予想

01

# 会社概要

ABOUT COMPANY



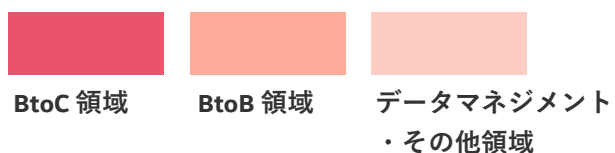
## 会社概要



会 社 名	株式会社メディックス
事 業 内 容	デジタルマーケティング支援事業
設 立	1984年3月30日
資 本 金	259百万円（2026年3月末時点）
所 在 地	東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
代 表 者	代表取締役社長 田中 正則
連 結 従 業 員 数	379名（2026年3月末時点）
決 算 期	3月末



## デジタルマーケティング支援事業の売上構成



**BtoC 領域**    **45.3%**

コンシューマー向けにサービスを提供している企業に対してマーケティングを支援する組織の売上



**BtoB 領域**    **28.5%**

法人向けにサービスを提供している企業に対してマーケティング支援をする組織の売上

データマネジメント  
・その他領域    **26.2%**

マーケティングDX・アクセス解析、Webサイト制作等を提供する組織の売上

02

# 2026年3月期 通期決算概要

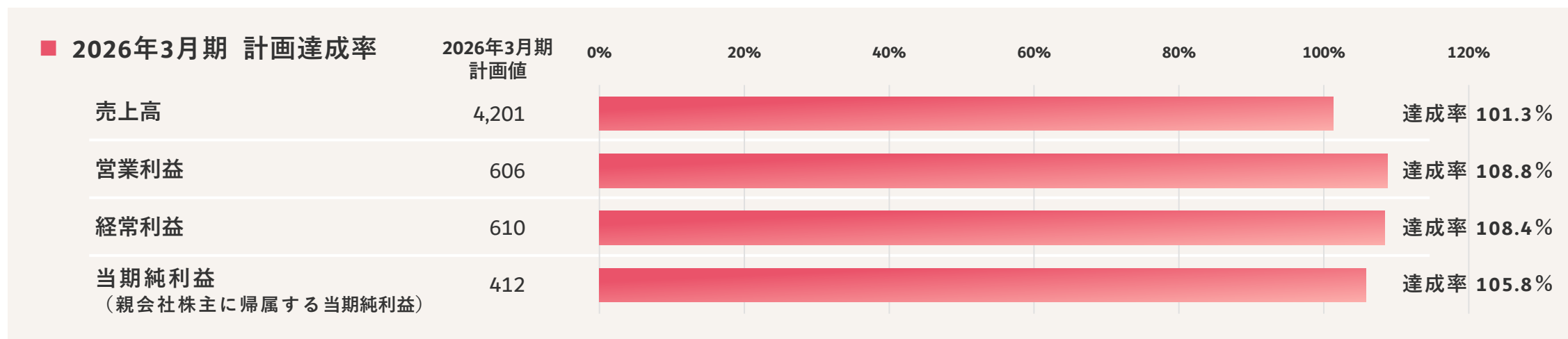
Financial Results for FY2026



## 業績ハイライト (1/2)

売上高は4,256百万円（前年比2.3%増）と増収。各利益については、前年比では減益したものの、全指標で修正計画を上回る着地となりました。

(単位：百万円)	2025年3月期 通期	2026年3月期 通期 (連結)	前年比	2026年3月期 計画 (2026年2月10日公表)	達成率
売上高	4,161	4,256	+2.3%	4,201	101.3%
営業利益	802	659	△17.8%	606	108.8%
経常利益	951	661	△30.5%	610	108.4%
当期純利益（親会社株主に 帰属する当期純利益）	803	436	△45.6%	412	105.8%



## 業績ハイライト (2/2)

BtoC領域は大型顧客の取引停止等により△11.1%の減収となりましたが、注力するBtoB領域が既存顧客の取引拡大により+12.1%と伸長。データマネジメント領域も、サイト制作の受注好調および子会社化したSTAグループの業績を織り込み+22.5%の大幅増収となりました。

(百万円)	通期実績			4Q実績		
	2025年3月期	2026年3月期 (連結)	増減率	2025年3月期	2026年3月期 (連結)	増減率
売上高	4,161	4,256	+2.3%	1,163	1,257	+8.0%
BtoC	2,168	1,927	△11.1%	586	467	△20.3%
BtoB	1,083	1,214	+12.1%	295	347	+17.7%
データマネジメント・その他	910	1,115	+22.5%	282	442	+56.7%
売上総利益	3,728	3,701	△0.7%	1,060	1,050	△0.9%
販売管理費	2,925	3,042	+4.0%	756	846	+11.9%
営業利益	802	659	△17.8%	303	203	△32.8%
経常利益	951	661	△30.5%	304	205	△32.7%
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	803	436	△45.6%	206	126	△38.8%

※ 株式会社Sales Labの売上高はBtoB領域、STAグループの売上高はデータマネジメント・その他領域の売上高に含まれております

## 2026年3月期の各領域における取り組み

## Beyond広告

## 既存ビジネスの深化・拡大

メインサービスの広告販売をさらに深堀し、マーケティングDX領域の成長と競争力を高め、成長を加速。

## 新領域へ進出

広告サービスにとどまらない新たなサービスへの進出。顧客の「売れる」の実現に応えられる真のマーケティングパートナーを目指す。

## AIクリエイティブ コンサルサービス「M-AI Plan」リリース

## BtoC 領域



AI×熟練プランナーの知見で暗黙知を可視化し、広告の「勝ち筋」をナレッジ化。AI活用による業務効率化も推進。

## ソニーNWCとのパートナーシップ締結・RevOpsソリューション提供開始

## BtoB 領域



BtoB企業の分断された各部門ごとのデータを連携しAI予測分析により各組織の収益最大化に貢献。従来の集客支援を超えた支援領域の拡大。

## AIデータ分析ソリューションリリース・パートナー連携拡充

## データマネジメント・その他領域



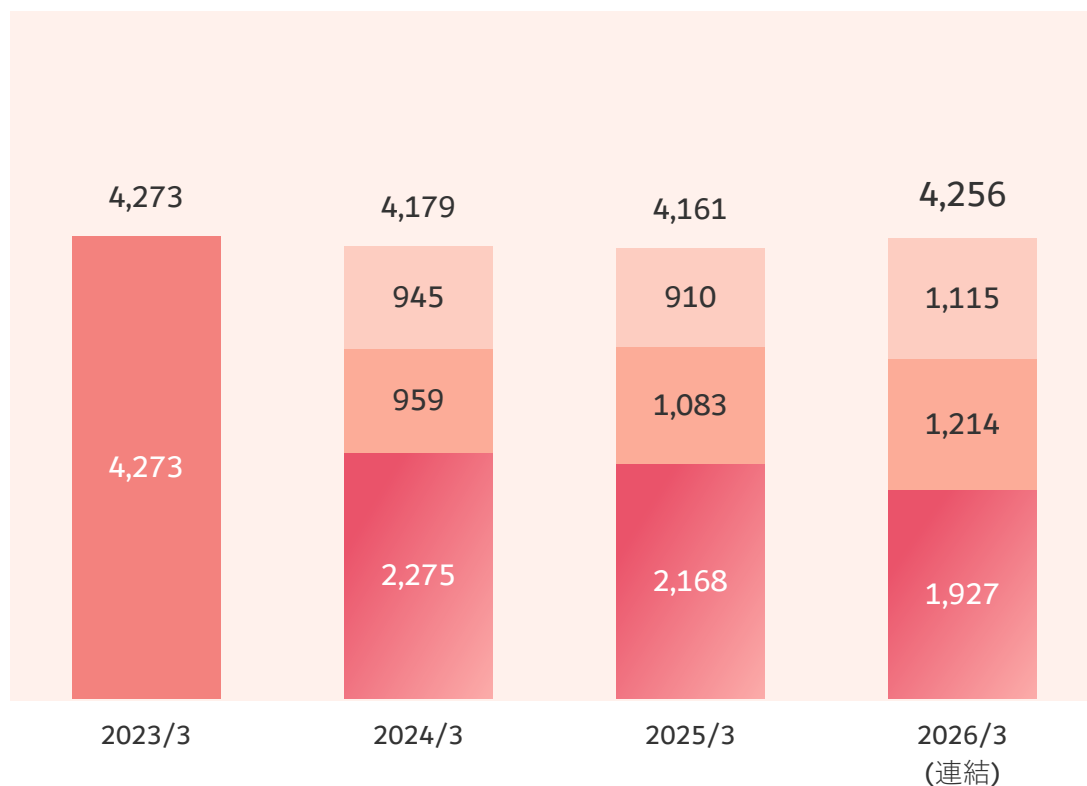
対話型AIやデータ統合による分析ソリューションを拡充。さらに事業拡大のためのパートナーシップとしてUGCツールと連携しCX領域へ展開。

## 通期業績推移

売上高は4,256百万円（前年比2.3%増）と増収。営業利益率が低下した要因は、子会社化した会社の連結影響と既存事業における大型顧客の取引停止等によるものですが、2023年3月期からのユニット経営の効果により、既存事業単体は、引き続き10%台後半の高い営業利益率を維持しています。

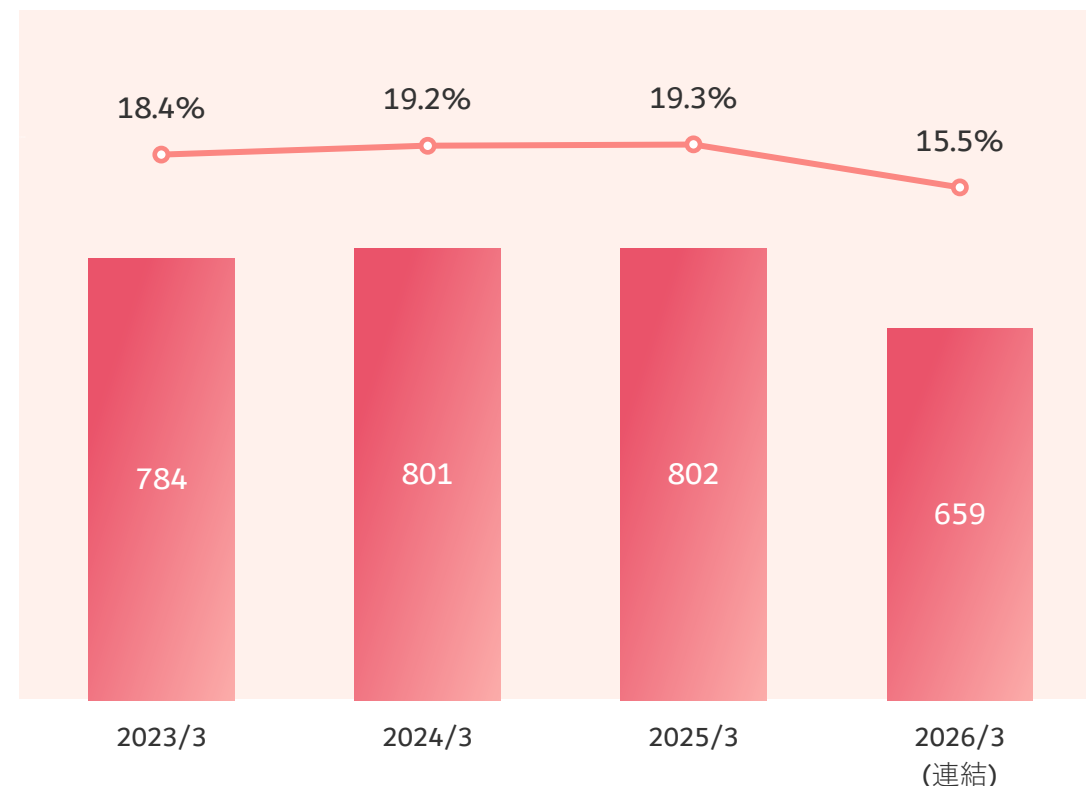
### 売上高（百万円）

■ BtoC 領域 ■ BtoB 領域 ■ データマネジメント・その他領域



### 営業利益（百万円）

■ 営業利益 ○ 営業利益率



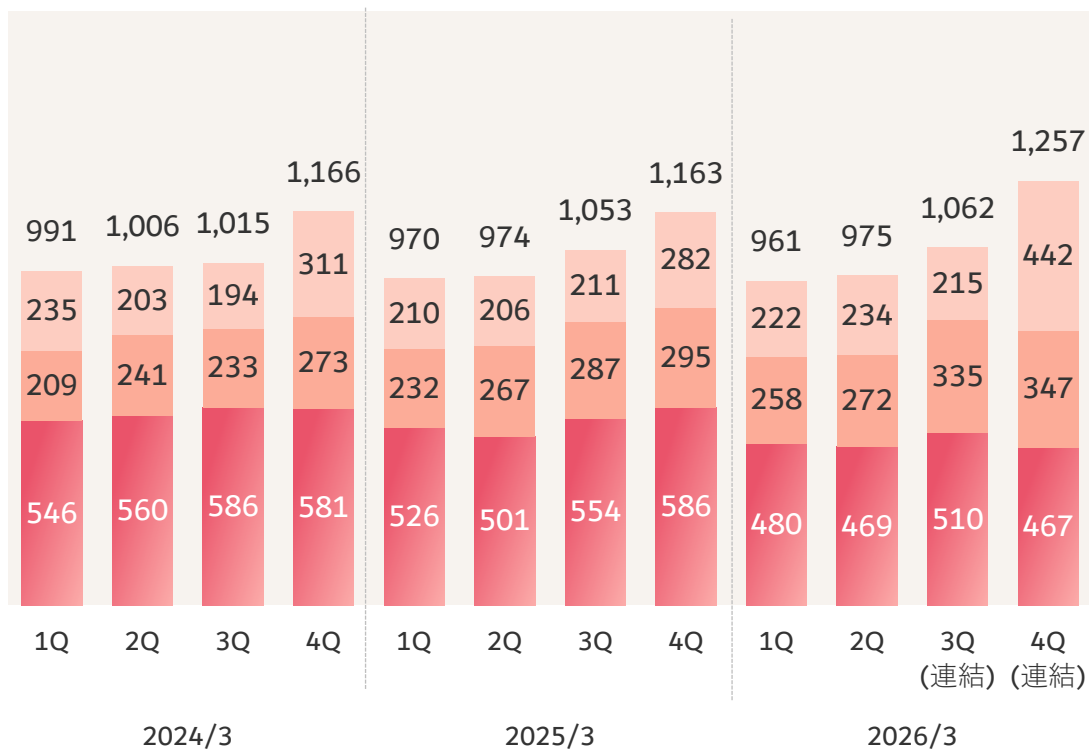
※2023年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）を適用

## 四半期業績推移

当第4四半期（連結）の業績は、売上高1,257百万円となり、前年同期を上回る結果となりました。営業利益率は4Q単体で16.2%となり、連結体制への移行後も安定した推移となっております。

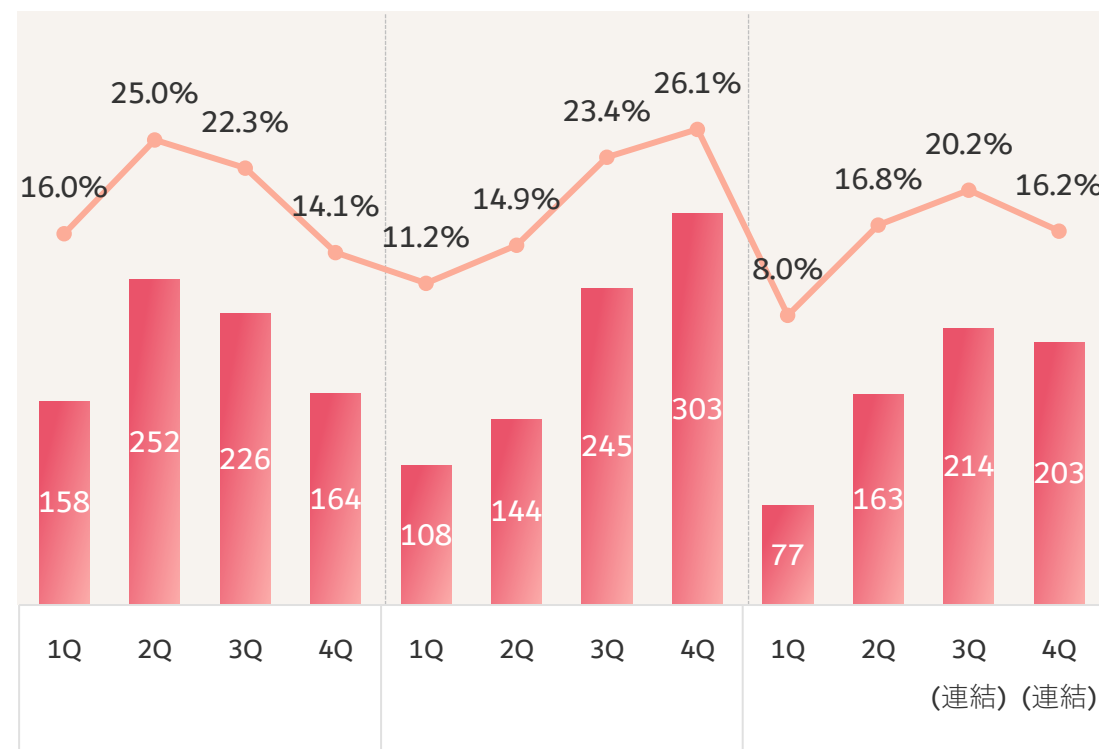
### 売上高（百万円）

■ BtoC 領域 ■ BtoB 領域 ■ データマネジメント・その他領域



### 営業利益（百万円）

■ 営業利益 ○ 営業利益率



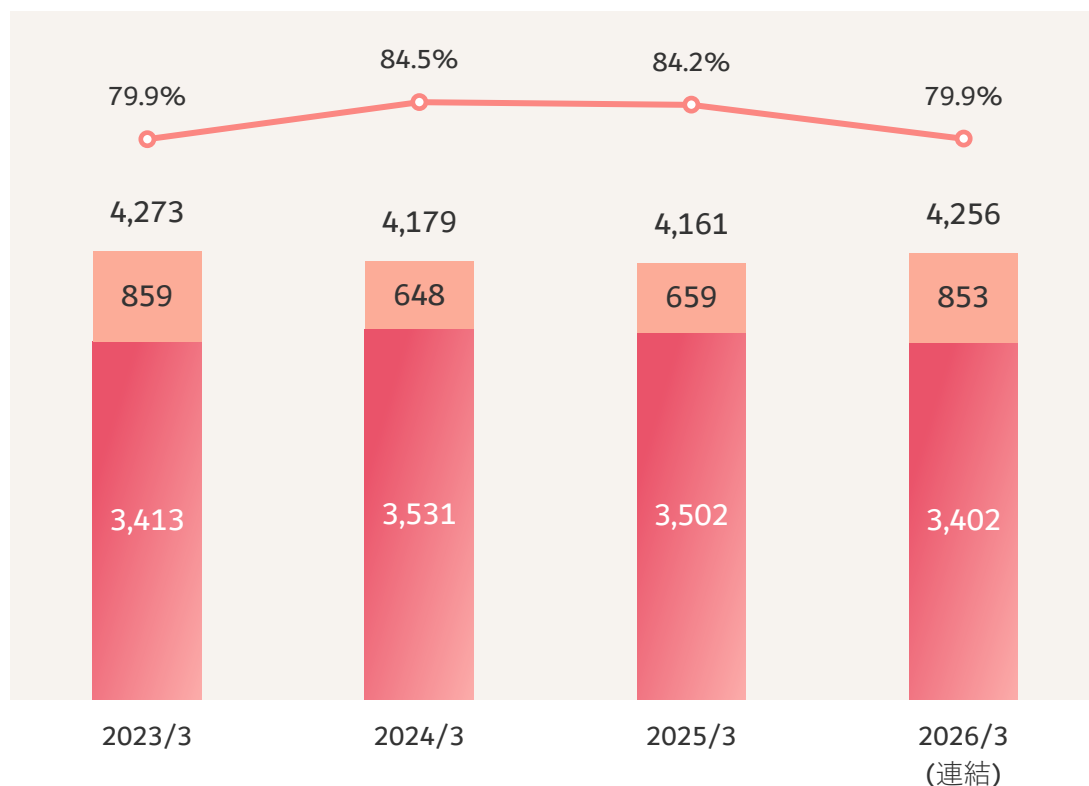
※株式会社Sales Labの売上高はBtoB領域、STAグループの売上高はデータマネジメント・その他領域の売上高に含まれております。

## KPI推移：3期以上取引のある顧客の売上高（安定した顧客基盤）

3期以上売上高の全体売上高に占める比率は79.9%と高水準で推移し、安定した顧客基盤を維持しました。なお、3期以上取引のある顧客売上高は単体ベースでの集計となっております。

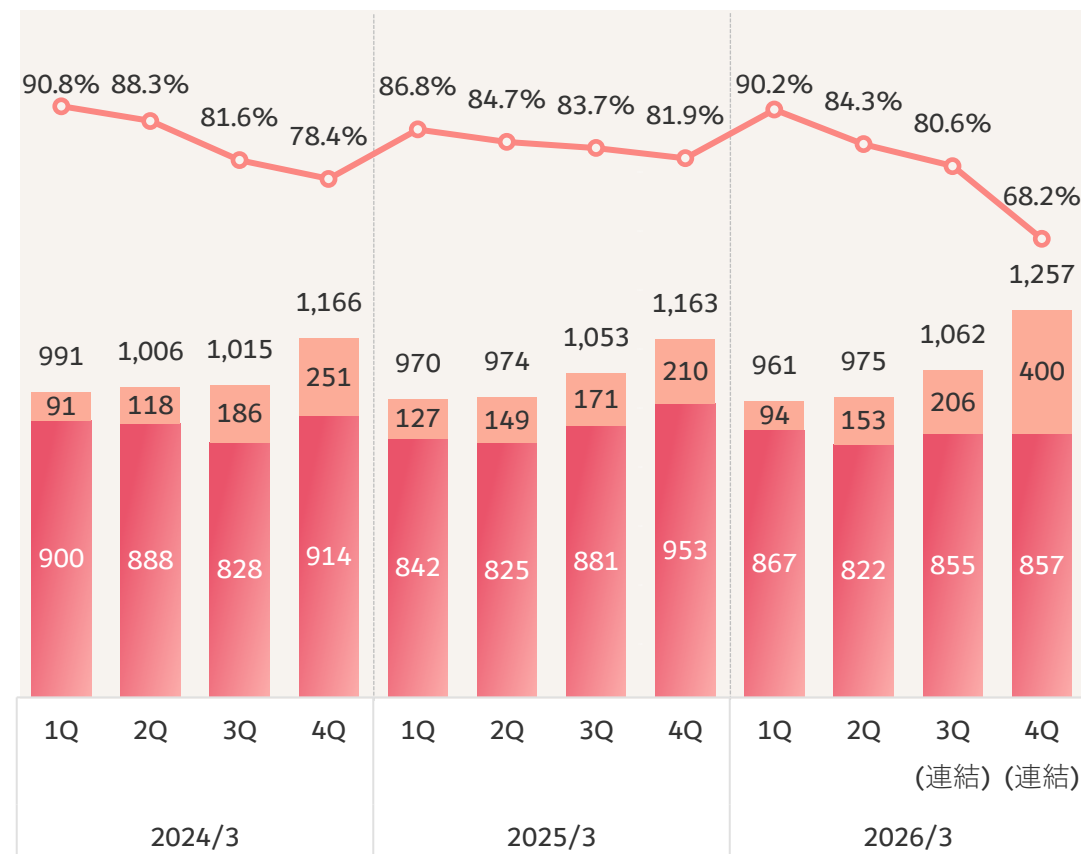
売上高分類・通期（百万円）

■ 3期以上取引のある顧客の売上高    ○ 上記全体売上高に占める比率



売上高分類・四半期（百万円）

■ 3期以上取引のある顧客の売上高    ○ 上記全体売上高に占める比率



## BSサマリー

(百万円)	2025年3月期末	2026年3月末 (連結)	増減額	増減要因
流動資産	6,102	6,746	+644	預金増293、売掛金増321
固定資産	567	985	+418	のれん増306、投資有価証券増139
資産合計	6,669	7,732	+1,062	
流動負債	2,832	3,077	+244	未払金増255
固定負債	567	1,091	+523	長期借入金増617、退職給付に係る負債減82
負債合計	3,400	4,168	+767	
純資産	3,268	3,563	+294	
負債・純資産合計	6,669	7,732	+1,062	

03

# 2027年3月期 業績予想

EARNINGS FORECAST FOR FY2027



## 2027年3月期 業績予想

売上高は4,975百万円（前年比+16.9%）、営業利益は707百万円（前年比+7.3%）を見込んでおります。

(百万円)	2026年3月期（連結） 通期実績	2027年3月期（連結） 通期計画	増減率
売上高	4,256	4,975	+16.9%
営業利益	659	707	+7.3%
経常利益	661	674	+2.0%
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	436	434	△0.5%
1株当たり配当金	18円	19円	+1円
配当性向	32.1%	34.0%	+1.9pt

## 株主還元方針

## 株主還元方針

配当	累進配当 DOE(株主資本配当率)4.0%程度を目安
配当回数	年2回(中間・期末)
自己株式取得	株価水準に応じて機動的に実行

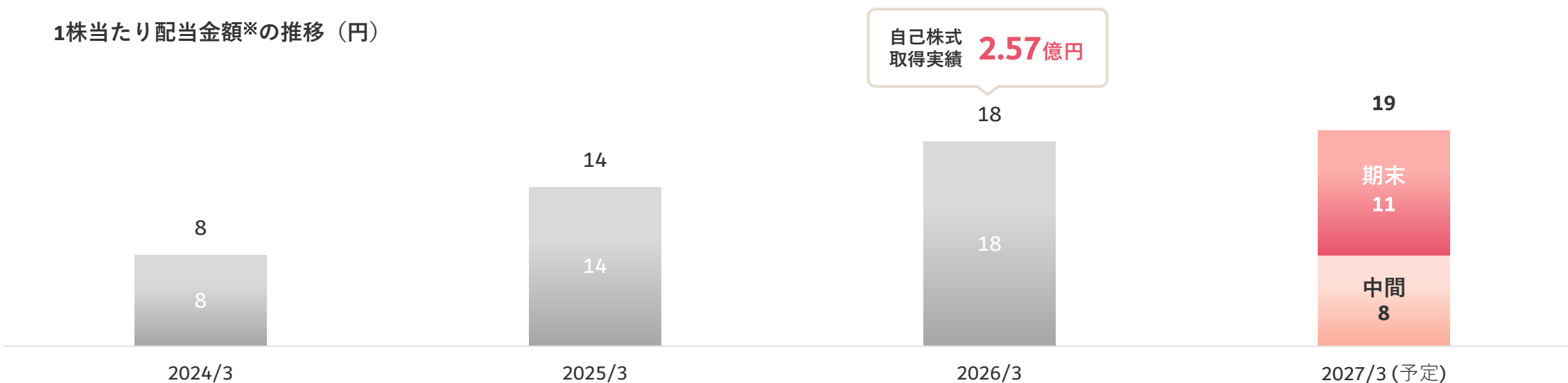
## 2027年3月期 配当予定

配当(予定)

19円

中間 8円 + 期末 11円

## 1株当たり配当金額\*の推移(円)



\* 2025年1月1日付で当社普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期については株式分割後の1株当たりの配当金の額を記載しています。